

輝け 八潮の子どもたち

「彩の国教育の日」の取り組み

11月1日は「彩の国教育の日」です。市では、教育に関する市民の関心と理解を二層深めるため、幼稚園・小学校・中学校・高等学校が参加する「教育の日発表会」や「学校公開」などを行います。

「彩の国教育の日」は、学校・家庭・地域の皆さんが協力して教育に関する取り組みを進めるために、平成15年に県が制定したものです。



家庭では

子どもと向き合う良い機会として、勉強の大切さや将来の夢について語り合い、子どもと接する時間を、積極的に

持ちましょう。

学校では

10・11月に、小・中・高等学校では、保護者や地域の方に参観していただけるよう、さまざまな取り組みを行います。地域とともに歩んでいく学校を目指して、積極的に学校公開を行っています。

地域では

子どもたちを健全に育成するためには、地域社会の教育力は欠かせません。地域で、子どもを見守り、声をかけ、良いところは褒め、育てていくことが大切です。「彩の国教育の日」を機会に、地域の果たす役割を考え、行動していきましょう。

「はばたき2014」授業公開

すべての小・中学校で、「はばたき2014」授業公開と題して、小中一貫教育の取り組みを、保護者や地域の方に公開します。

当日配布される「参観のしおり」には、小中一貫教育の授業におけるポイントが書かれています。

八潮市ノードAY

家族の絆をはぐくむため、携帯電話、テレビ、ゲーム機を使用しない日を設定し、読書の推進を図るとともに、家庭のどんらんの時間を生み出すことを目指しています。今年度の統一実施日は、11月3日です。

八潮市教育の日発表会

保護者以外の方もご参観ください。

【テーマ】

「子どもが輝く 八潮の教育」
— 家庭・学校・地域社会の連携を通して —

【日時】

11月7日(金)
午後2時45分～4時30分

【場所】

八潮メセナホール

【内容】

- ・園児による合唱の発表 (みひかり幼稚園)
- ・市内全中学校による合唱の発表
- ・小中一貫教育の発表
潮止中ブロック (潮止中学校、中川小学校、大瀬小学校)
- ・高等学校の発表 (八潮南高等学校)



合唱の発表



小中一貫教育の発表

表1 削減取り組み結果と削減額

項目	平成25年度		平成15年度 使用(排出)量 ※1	削減量	削減率 (%)	単価※2 (円)	削減額 (円)
	目標	使用(排出)量					
電気 使用量 (kwh)	平成13・14・ 15年度の 平均値と比較 して3%削減	3,675,972	4,218,001	542,029	12.9	25	13,550,725
水 使用量 (m)	平成15年度と 比較して 5%削減	35,319	34,985	-334 (334m増)	-1.0 (1%増)	270	-90,180 (90,180 円増)
ごみ 排出量 (kg)	平成15年度と 比較して 20%削減	47,714	73,704	25,990	35.3	32	831,680
合計 削減額(円)							14,292,225

※1 平成16年度以降に新設された施設の使用(排出)量については、新設された年度の数値を基準として比較しています。
※2 単価は、平成16年度取り組み結果で使用した単価

表2 二酸化炭素排出削減量

項目	排出係数	平成25年度 排出量(kg-CO ₂)	目標の基準となる 排出量(kg-CO ₂)	削減量(kg-CO ₂)
電気	0.525	1,929,885	2,214,451	284,566
水	0.36	12,715	12,595	-120 (120kg増)
ごみ	2.77	132,168	204,160	71,992
合計	-	2,074,768	2,431,206	356,438

※電気の排出係数については、東京電力株式会社の排出係数です。
※二酸化炭素削減量の約356トンは、ぶな林約65ヘクタール(八潮中央公園約57個分)が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。

エコオフィスの取り組みで 1429万円を削減

市では、「八潮市地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)」に基づき、電気、水使用およびごみ排出に伴う、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。また、紙ごみの再資源化を図るため、職員が回収作業を行っています。

使用量、削減結果

平成25年度のエコオフィスの取り組みによる目標値については、電気は平成13・14・15年度の使用量の平均値と比較して3パーセントの削減、水は平成15年度の使用量と比較して5パーセントの削減、ごみ排出量は平成15年度と比較して20パーセントの削減と

二酸化炭素排出削減への取り組み

平成25年度の二酸化炭素の排出量(単位はkg-CO₂)は、

環境リサイクル課 ☎3338

それぞれのエネルギー使用量などに、あらかじめ定められた排出係数を乗じて計算しました。エコオフィスの取り組みにより、平成15年と比較して、二酸化炭素換算で35万6438キログラム削減できました(表2)。

創意工夫の取り組み
温室効果ガスの削減に向け、電対策に取り組んでいます。また、今年も軽装による節

その結果、電気使用量、ごみ排出量について目標を達成しましたが、水使用量については平成15年度を1パーセント上回る結果となり、目標を達成できませんでした(表1)。

その他の取り組みとして、各部署で環境への負荷が少ない製品の調達、公共工事における環境配慮、水道部や保育所などでゴーヤなどの栽培による緑のカーテン、保育所などで児童にごみの分別の啓発、エコドライブ、マイ箸の持参、メモ用紙の再資源化などに努めています。